

事例 No.11

		評価者 小田切優子	評価日 2025/11/08
評価（該当する数字に○、もしくは該当しない選択肢を削除）	1	選定基準に合致している好事例	
	2	具体化など修正を要する箇所があるが好事例	
	3	今回の選定基準とは合致しない	
記入欄			
【1の評価コメント】	活動の良い点：部門長がアクションを取りやすいように事前に人事部主導でマニュアルが作成されかつ周知されていた点が本事例成功のポイントだと思います。アクションに向けてハードルを下げることに成功し、結果として専門スタッフ不在であっても取り組みが進んだ様子です。		
	他事業所で活用できる点：改善のアクションが複数提案された場合に、特にポジティブなアクションが多かったアクションを採用するという方法は、全員参加型の場合に部門員が納得感をもって活動にあたるため重要でしょう。		
	今後の期待：3つのアクションを決定し、改善活動が行われてきたプロセスを詳細に分析評価しています。次年度のエンゲージメント調査の結果でアウトカムも評価可能となることに期待しています。部門員が活動に対する振り返りをフィードバックしていただき、PDCAで改善活動のさらなる活性化につなげていただければと思います。		
	その他：アクション①では朝会を取り入れ、かつ業務管理ツールを活用したとのこと。進捗が可視化されたことによりタスクの依頼や巻取りが生じて業務負荷が分散された、とのこと。これがうまくいく背景には、同時に進行していた他のアクションによる部門内のコミュニケーションの活性化も寄与したように思います。		
【2の評価コメント】	修正を要する箇所と理由		

【3の評価 コメント】	基準と合致しない理由
------------------------	------------